

## 議題2 碧南市地域自立支援協議会 作業部会 報告について

### 1 事業所部会

#### (1) 構成メンバー

障害福祉サービス事業所、地域活動支援センター、相談支援事業所、障害者就労相談所

#### (2) 平成27年度目標及び結果

##### ア 目標

(ア) 課題解決のため、課題別（移動支援、日中一時支援、行動援護、強度行動障害、グループホームなど）ワーキンググループの設置

##### イ 結果

(ア) 事業所代表者会議を開催し、個別課題を確認

(イ) 移動支援ワーキンググループを4回開催し、グループ支援について検討。平成28年度より、グループ支援サービスを開始

(ウ) 日中一時支援ワーキンググループを2月18日（木）に開催

#### (3) 平成28年度検討事項

##### ア 課題

引き続き課題解決に向け、ワーキンググループで具体的検討が必要

##### イ 目標

日中一時支援ワーキンググループを中心に課題別の検討を行う。検討結果を事業所部会で確認し、課題解決に向けた取り組みの検討

##### ウ 取組内容

5月12日（木）、6月3日（金）に日中一時支援ワーキンググループを開催し、次の取組を実施。今後は、利用者ニーズアンケートを実施し、具体的な課題確認について検討予定

(ア) 緊急時、土日対応の支援体制について検討

(イ) 市内の日中一時支援サービスを提供している事業所のサービス提供状況を確認

(ウ) 支援の度合いが高い利用者に対する事業所対応状況を確認し、支援の充実が必要であることを確認

## 2 権利擁護部会

### (1) 構成メンバー

障害当事者団体代表、民生委員、警察署、ハローワーク、保健所、特別支援学校、精神科病院、障害福祉サービス事業所、相談支援事業所、障害者就労相談所、行政（高齢課介護課、健康課、こども課）

### (2) 平成27年度目標及び結果

#### ア 目標

権利擁護についての継続的な普及啓発及び市民への周知

#### イ 結果

- (ア) 虐待及び権利擁護の状況並びに虐待防止の先進事例を報告
- (イ) 虐待防止チェックリストを市内各事業所に配布し、再度調査を実施
- (ウ) 2月19日（金）に障害者の権利擁護について勉強会を開催（出席者88人）

#### 基調説明

「障害者差別解消法と障害者の権利擁護について理解するために」  
～具体的な事例を交えながら、今、私たちがしなければならないこと～  
講師 福山平成大学福祉健康学部福祉学科准教授 杉本浩章氏

#### パネルディスカッション

「障害者の権利擁護のために今、何をすべきか」

司会・パネリスト 福山平成大学福祉健康学部准教授 杉本浩章氏

パネリスト① 碧南市手をつなぐ育成会会計 荒川久美子氏

パネリスト② 碧南ふれあい作業所所長 竹内涼氏

パネリスト③ 碧南市福祉こども部福祉課課長補佐 鈴木善三氏

### (3) 平成28年度検討事項

#### ア 課題

- (ア) 虐待の通報者が関係者に限定されているため、市民への継続的な普及啓発の検討
- (イ) 事業所の虐待対応体制のレベルアップ

#### イ 目標

- (ア) 虐待防止法及び障害者差別解消法について、継続的な周知及び理解の促進
- (イ) 事業所の虐待対応体制の整備、第三者評価の検証

(ウ) 成年後見支援センターとの連携

ウ 取組内容

5月27日（金）に権利擁護部会を開催。平成27年度の虐待件数、虐待防止チェックリストの結果等を報告し、継続して虐待防止の取り組みを行うとともに、成年後見センターと連携して勉強会を開催していくことを確認

### 3 就労支援部会

#### (1) 構成メンバー

障害当事者団体代表、ハローワーク、地域活動支援センター、特別支援学校、保護者、商工会議所、農業委員会、支援企業、障害者就業・生活支援センター、障害福祉サービス事業所、相談支援事業所、行政（学校教育課、商工課）

#### (2) 平成27年度目標及び結果

##### ア 目標

(ア) 新たな実習先の開拓及び実習職種の拡大

(イ) 企業等とのタイアップ・マッチング方法の検討（セミナーやシンポジウム形式の開催等）

##### イ 結果

(ア) 実習先の開拓、実習職種拡大のため、製造業1社、水耕栽培農家1軒を訪問

(イ) 障害者雇用セミナーを開催。市内の企業を中心に14社参加。障害者雇用制度及び助成金等の説明を行い、シンポジウム形式にて企業体験談報告、学校や支援機関と企業担当者との意見交換会を実施

#### (2) 平成28年度検討事項

##### ア 課題

(ア) 実習先の開拓、実習職種の拡大までに至っておらず。実習先の職種が偏っている。

(イ) 地元企業を中心に障害者雇用の理解促進や意識の浸透を図っていく必要がある。当事者と学校、支援機関と企業の相互理解を深めながら、連携を図りやすくしていく必要がある。

(ウ) 福祉的就労による工賃アップの方法などを探っていく必要がある。

##### イ 目標

(ア) 新たな実習先の開拓及び実習職種の拡大

(イ) 障害者雇用に関する意識の浸透や相互理解を図っていくため、セミナー等の開催

(ウ) 工賃アップの方法の検討

##### ウ 取組内容

(ア) 4月26日（火）に就労支援部会を開催。今年度も障害者雇用セミナーを開催

する。セミナーの方向性は、「地縁・ご縁を深めるセミナー」とする。内容は、  
6月15日（水）開催のコアメンバー会議で検討

- (1) 職場実習は、就労移行支援事業所で施設外就労を進めているケースを紹介。また、単独の機関、事業所では対応の限界があるため、事業所間の連携が図れるシステムや仕組みがあると、地域での就労実績が数字として上がるのではないかとの意見

## 4 こども部会

### (1) 構成メンバー

保護者、ほっとまんまピアサポーター、児童相談センター、特別支援学校、児童通所サービス事業所、子育て支援センター、相談支援事業所、障害者就労相談所、行政（こども課、学校教育課、健康課）

### (2) 平成27年度目標及び結果

#### ア 目標

(ア) ライフステージをつなぐ一貫した支援、連携の確立

#### イ 結果

(ア) 乳幼児期、学齢期支援の現状及び課題の整理

a 乳幼児期、学齢期それぞれの発達支援の現状、課題を確認。さらに学齢期の問題から乳幼児期にしておくことの良いことの確認

b 障害児支援の理解と促進を図るため、こども部会構成メンバーや施設長などを中心に、日本福祉大学教授の渡辺顕一郎氏による講演会を開催

(イ) 支援者支援マップの作成

地域に数ある資源、事業所などの情報を一元化し、こども支援に関係するサービス支援機関を分かりやすくするため、支援者支援マップを作成

(ウ) 保護者支援とほっとまんまピアサポーターによる支援

a 障害児を育てている保護者への支援として、茶話会と講話会（「障がいのある兄弟をもつお子さんの関わり方」講師：廣瀬治代氏）を開催

b ピアサポーターによるにじの学園出張相談やサポートブック説明会を開催

### (3) 平成28年度検討事項

#### ア 課題

(ア) 将来の自立に向けたライフステージごとの課題に対する支援方法の具体化

(イ) 各支援機関の連携、情報共有

(ウ) ほっとまんま相談コーナー利用者数の減少に対する対応

(エ) サポートブックの利用状況の把握と課題整理、周知方法の検討

#### イ 目標

(ア) ライフステージをつなぐ一貫した支援、連携の確立

(イ) ほっとまんまの周知や相談コーナーの展開方法の検討及び相談員のフォローアップ

ップ

(ウ) サポートブック利用状況の現状把握、課題の整理

ウ 取組内容

(ア) 7月15日(金)に第1回こども部会を開催予定

(イ) 7月1日(金)に障害児を育てている保護者支援として、茶話会を開催予

(ウ) 成人期支援の現状から課題の共有と整理をする。成人期の問題を乳幼児期・学  
齢期にフィードバックし、支援方法を検討する。

(エ) 市内の保育園、幼稚園、小中学校を対象に、サポートブックの利用状況につい  
てのアンケートを実施中

(オ) ほっとまんま相談コーナーをこころつくしんかわと連携し、あおぞら教室等で  
保護者同士が相談しやすい環境とした。

## 5 障害者災害時支援部会

### (1) 構成メンバー

民生委員、障害当事者団体代表、特別支援学校、福祉避難所指定障害福祉サービス事業所、行政（高齢介護課、防災課）

### (2) 平成27年度目標及び結果

#### ア 目標

重症心身障害者の方の碧南市総合防災訓練への参加

#### イ 結果

(ア) 8月30日（日）に開催された市の総合防災訓練の際、重症心身障害児者の具体的な避難訓練を実施。行政や避難所運営上の課題、本人・家族の課題について検証。

(イ) 避難行動要支援者の避難行動支援について検討した。

(ウ) 安城特別支援学校PTA「みどり会」が2月29日（月）に実施する、防災に関する研修「誰もが、助かるために！」に協力し、知的障害者の災害時の体制について検討した。自主防災会や民生委員に案内し、総勢50名の参加があった。うち、民生委員は23名の参加があった。

(エ) 身体障害者福祉協会が3月16日（水）に実施した防災に関する研修に協力した。

### (3) 平成28年度検討事項

#### ア 課題

(ア) 地域での避難行動要支援者の支援、発災後の個別支援について、具体的な検討の継続

(イ) 自閉症等発達障害、知的障害、精神障害者等について、個別の障害や困難さによる避難行動、避難生活の問題点の検証

(ウ) 避難所運営者をはじめとする行政職員や自主防災会、地域住民に、障害者の存在や基本的な対応方法等の周知

#### イ 目標

(ア) 総合防災訓練で知的障害者の具体的な避難訓練の実施

(イ) 避難行動要支援者名簿、個別支援計画について検討



ウ 取組内容

- (ア) 6月17日（金）に障害者災害時支援部会を開催。避難行動要支援者制度について説明。また、知的障害児者に聞き取り調査を行い、8月28日（日）に開催される総合防災訓練で避難所まで避難する訓練を実施予定

## 6 地域生活支援部会

### (1) 構成メンバー

当事者、保護者、地域活動支援センター、精神科病院、障害者就業・生活支援センター、保健所、障害福祉サービス事業所、相談支援事業所

### (2) 平成27年度目標及び結果

#### ア 目標

(ア) 精神障害者の地域移行支援・地域定着支援の検討

(イ) 受け入れ条件が整えば退院可能な精神科病院長期入院患者についての実態調査

#### イ 結果

(ア) 刈谷病院、矢作川病院の入院患者について情報共有

(イ) 精神科病院長期入院患者の実態把握をするため、病院へアンケートを実施

(ウ) アンケート調査結果（20病院）を部会で共有

(エ) 地域移行支援のパンフレット作成について検討

### (3) 平成28年度検討事項

#### ア 課題

(ア) アンケート調査結果を基に個別ケースの確認

(イ) 精神科病院と顔の見える関係づくり

(ウ) アンケート調査結果の部会内での検証

(エ) 親亡き後の生活、グループホーム等の社会資源不足

#### イ 目標

(ア) 病院との連携、個別ケースを通じた地域移行支援、地域定着支援の可能性の確認

(イ) 個別ケースを通じた地域課題の共有及び検討

#### ウ 取組内容

(ア) 地域移行支援のパンフレットを作成。

(イ) アンケート結果に基づき、病院へ個別訪問を実施。パンフレットの配布と個別ケースの状況を確認

## 【こころ運営委員会】

### (1) 平成27年度の取組

ア 精神に障害のある方等の居場所「こころ」を毎週木曜日10～15時に開設

- イ 奇数月第1木曜日に運営委員会を開催し、プログラムを検討
  - ウ 福祉課窓口で自立支援医療の更新手続きの際に、案内チラシを配布。ホームページに掲載、近隣精神科病院・クリニックにチラシ・ポスターを送付
  - エ ボランティアに対する研修、意見交換会を定期的（7月、1月）に開催
- (2) 平成28年度の取組予定
- ア 「ころころ」の運営、居場所、プログラム内容について協議
  - イ ボランティアの人数と質の確保、研修の実施